

製販部門での取り組み

燃料消費量削減によるCO₂排出量削減への取り組み

地球温暖化防止対策の取り組みとして、アスファルト合材製造時の燃料消費量削減のため、下記の対策を実施しています。

1. 省エネ効率の高い、低空気比バーナーの積極的な導入
2. CO₂の排出を約30%削減できるガスバーナーの導入
3. 多品種な合材製造に対応できる加熱乾燥用ドライヤ装置の熱交換効率の向上



低空気比バーナー

電気使用量削減によるCO₂排出量削減への取り組み

地球温暖化防止対策の取り組みとして、アスファルト合材製造時の電気使用量削減のため、下記の対策を実施しています。

1. 電気使用量のピークカットを目的としたデマンドコントローラーを全てに導入
2. 最適な回転制御を行い、ロスを最小限に抑えるため、大型のモーターを使用する機械装置(排風機・ウインチモーター等)にインバーターを導入



ウインチモーター

工事部門での取り組み

燃料消費量削減によるCO₂排出量削減への取り組み

地球温暖化防止対策の取り組みとして、工事施工時の燃料消費量削減のため、下記の対策を実施しています。

1. 環境負荷の少ない環境対策型建設機械の使用
 2. 建設機械やダンプトラック等によるアイドリングストップの徹底
- 一般社団法人日本建設業連合会の「建設施工段階のCO₂排出量」目標値(1990年度比で2020年度までに20%削減)に対し、2017年度は25.5%削減を達成しています。

事務部門での取り組み

電気使用量の削減によるCO₂排出量削減への取り組み

事務所で使用する電気製品や照明装置は、全て省エネルギータイプを選定し導入しています。

2) 循環型社会(再資源化)の構築について

産業廃棄物中間処理事業

アスファルト塊・コンクリート塊の受け入れ量の拡大

恒久的な循環型社会を目指し、有限である資源を有効かつ効果的に利用するため、自社工事及びお客様から、アスファルト塊・コンクリート塊を受け入れ、中間処理を実施しています。アスファルト塊は再生合材の材料として、また、コンクリート塊は再生路盤材として再利用しています。



アスファルト塊の受け入れ

2017年度中間処理施設での建設廃材受入数量実績

項目	部門	受入数量
建設廃材	アスファルト塊	1,041 千 t
	コンクリート塊	462 千 t

再資源化



再資源化率	
99.98%	再生合材へ
99.03%	再生路盤材へ